

これまでの議論と 今後の検討の方向性(案)について

平成29年6月29日
事務局

1. 速やかに方向性を示すべきもの

- 情報共有、国際連携、研究開発、人材育成に係る取組の方向性
(第4回、第5回のタスクフォースを受けた検討)

⇒ 概算要求等に向けて整理

2. 示された方向性を見据えて、検討を深めるべきもの

- IoTセキュリティ関係者(製造業者)による取組
- リスクマネジメントの観点

⇒ 「IoTセキュリティ対策の取組方針」及び上記1. を踏まえた
取組・制度整備等に反映

1. (1) 情報共有・国際連携

・自社で防御能力を保有していない中小企業を含め、事業者間で情報共有を促進するためのガイドラインの策定

【ガイドラインに記載する内容の例】情報共有の目的・利点、共有される情報の範囲・取り扱い等

(第4回タスクフォースにおける構成員等の御意見)

- 開示することができない・開示しにくい・開示することで問題を生じさせる情報等の取り扱いをいかにするかが課題。
- 企業が安心して情報を提供することができる仕組みが必要。

・共有された情報を分析し、付加価値を付けて提供する仕組みの構築

【付加価値の例】重複の排除、情報の重み付け、攻撃の全体像、自動防御手段等

(第4回タスクフォースにおける構成員等の御意見)

- C2サーバの情報については、ボットネットの構成等が時間の経過とともに変化するので、ある時点のみの情報を収集することに意味があるのかという疑問がある。意味がある情報とするためには、情報の分析が必要。
- 情報共有の最終的な目標は、それに基づいて適切な手がタイムリーに打てるところにある。

1. (1) 情報共有・国際連携 続き

・情報提供元及び提供された情報の信頼性を担保する仕組みの構築

(第4回タスクフォースにおける構成員等の御意見)

- 知らない人・組織との間で安全・安心な情報共有を行うための制度設計が必要。制度による信頼性の担保を行う手法を進化させることが必要。
- カウンターインテリジェンスの観点で、情報の出所や情報を扱う人・機関を精査することが重要。情報の精度・確からしさについても検討が必要。

・情報共有に関する米国との連携の推進

(第4回タスクフォースにおける構成員等の御意見)

- 米国においては、IT-ISACやNCCIC等の取組において、収集した情報をインデックス化して配布するということが行われている。共有に関する全体的なフレームワークの開発については米国が進んでいるので、米国を巻き込んで検討することが必要。

1. (2) 研究開発・人材育成

・政府におけるサイバーセキュリティ技術開発と調達との良好なサイクルを促進

(第5回タスクフォースにおける構成員等の御意見)

- 自国内でしっかりセキュリティ技術を保有し、育成できるような良いスパイラルが必要。
- NICTが研究開発をした成果が社会に導入されていくような仕組みが必要。
- 政府が国の技術を使って、国の技術をちゃんと国の中で開発して、その技術を作れる人材というのを国の学が提供できるというサイクルを回していく仕組みが必要。

・セキュリティ運用の知見を情報共有することで、ニーズにあった研究開発が促進されるような枠組みを構築

(第5回タスクフォースにおける構成員等の御意見)

- 現場のセキュリティの状況を必ずしも反映していない研究例を見ることがあるが、現場の状況を伝えると倫理的な問題が発生するのではないかという不安がある。研究倫理を確保しつつ、研究開発が円滑に実施できるような情報共有の仕組みが必要。

1. (2) 研究開発・人材育成 続き

- ・セキュリティ教材の配布や演習の実施等により、ユーザー企業におけるセキュリティの内製化を支援する取組を促進(セキュリティ企業の人材は、高度な能力を持つ者に特化)

(第5回タスクフォースにおける構成員等の御意見)

- 我が国ではIT業務を外注化する傾向が強く、ユーザー企業においてセキュリティ人材の育成が進まない。セキュリティ企業においても、比較的人手がかかる業務を受けることが多く、高度な人材育成が進まない傾向がある。
- セキュリティ人材を効果的に育成できるようなカリキュラムを準備し、関係者で共有しながら組織的に進めていくことが必要。
- セキュリティ技術に限らず、マネジメントも学べる総括的な人材育成のプログラムが必要。

- ・海外への派遣による経験等を通じて、積極的に起業などを行うセキュリティ人材を育成するとともに、そういった人材に対する支援の枠組みを促進

(第5回タスクフォースにおける構成員等の御意見)

- セキュリティのコア技術の開発ができる人材等、長期的大局的に必要な人材を育成する必要がある。
- 開拓精神を持てる人材、アントレプレナーシップみたいなものをしっかり醸成するような場を増やす必要がある。
- 短期の海外経験が若者の行動に大きな影響を与えることがある。